

## 気象庁 仙台管区気象台

気象防災部 地域防災推進課

専攻分野や学歴よりも、  
興味とやる気が大事です。

### Q なぜ国家公務員、 そして気象庁を志したのですか

もともと空や気象に興味があり、小さい頃から地元の気象台のイベントに参加したり、天気観測や高層気象観測の職業体験をしたりしていました。

当時は「国家公務員」や「国の組織」という意識はあまりなく、気象台は身近な場所という感覚でしたが、就職を考えるようになってから、自分の興味や大学で学んだことを活かせる場所として、気象庁に入りたいと思うようになりました。

また、実家が毎年のように川があふれる地域だったこともあり、行政の立場で災害に関われる仕事がしたいと考えたのも理由の一つです。

高校時代は気象大学校を目指したこともありましたが叶わず、一般の大学で気象学を学び、物理区分採用で入庁しました。このように、気象庁に入る進路は一つではないと実感しています。

### Q 所属する気象台の業務内容と、 現在の担当業務を教えてください

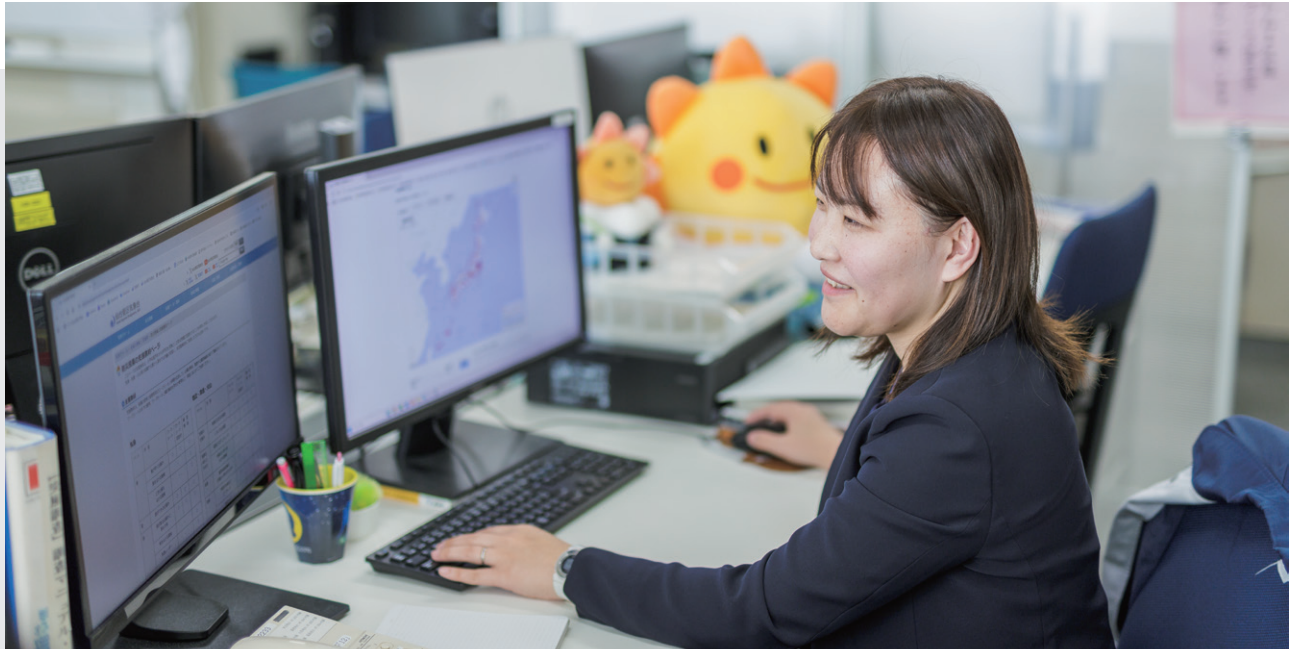
現在は、竜巻などの激しい突風が発生した際の現地調査や、気象災害に関する資料の作成・管理、図書管理などを担当しています。

また、ラジオ番組で気象情報を伝えるための原稿作成や出演も行っています。

ラジオでは、専門用語をできるだけ使わず、分かりやすい言葉に言い換えることを意識しています。

正確さを保ちつつ、どうすれば伝わるかを考えるのが、この仕事の難しさであり面白さだと思っています。





## Q 仕事のやりがいや、技術系職員ならではの面白さを教えてください



やりがいを一番感じるのは、やはり災害時の対応です。

夜間や休日に呼び出されることもあり、緊張感はありますが、発表する情報が住民の皆さんに直接届く仕事なので、責任の重さを強く感じます。

災害時は、部署や担当を超えて、みんなが一斉に動きます。その「みんなで対応している」という一体感も、この仕事ならではのだと思います。

また、気象庁は業務の幅がとても広く、気象だけでなく、地震、火山、広報、観測、通信など、さまざまな分野に関わります。

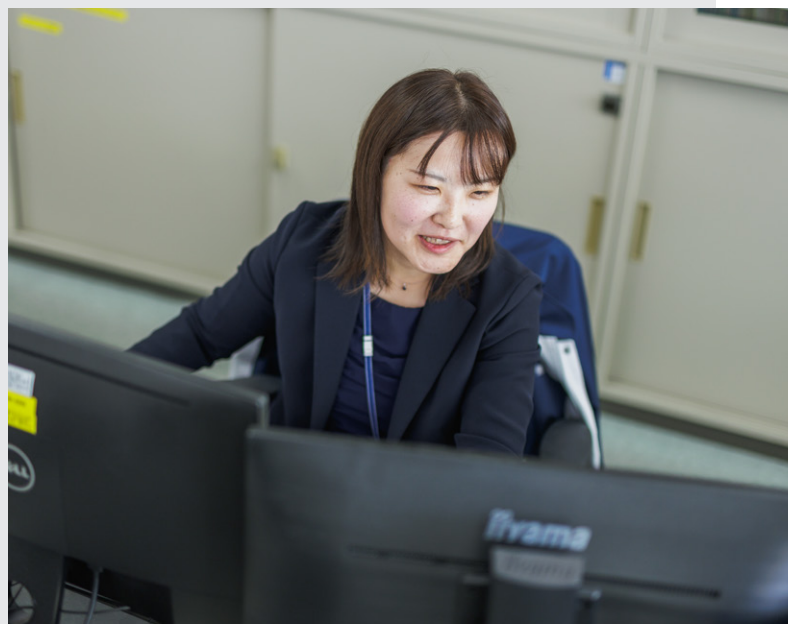
大学の専攻に縛られずに活躍できる点も、技術系職員としての面白さだと感じています。

## Q 入庁前に抱いていたイメージと、入庁後の印象に違いはありましたか

入庁前は「気象の仕事が中心」だと思っていました。

でも実際に働いてみると、観測点の整備や機器の障害対応、防災気象情報を支える通信業務など、気象庁が自前で管理している業務がとても多くて驚きました。

また、気象学専攻出身でない職員も意外と多く、様々なバックグラウンドを持つ人が働いています。一つの分野だけでなく、幅広い仕事に関われる点は、入庁後に知った気象庁の魅力です。





## Q 女性の視点から見た、ワークライフバランスについて教えてください

入庁当初は、女性職員が少ない印象もありましたが、仕事の内容や役割に男女差を感じたことはありません。

最近では女性職員も増え、管理職や専門職として活躍している人も多いです。

男女問わず育児休業を取得するケースも増えていますが、在宅勤務やフレックスタイム制度、各種休暇を活用して働いている職員も多いです。

本人の希望に応じて、転勤や深夜勤務に配慮してもらえるなど、子育てと仕事を両立しやすい環境だと感じています。

私自身も、家庭の状況に合わせて働き方を調整しながら仕事を続けています。

※ この記事の最後に「ある1日のスケジュール」を参考までに載せています。



## Q 今後、どのような仕事や未来を描いていますか

気象庁が発表する情報が、必ずしも正しく伝わっていないと感じる場面は少なくありません。

意外と身近な人にも伝わっていなかったりするため、そこは大きな課題だと思っています。

これからも、いろいろな伝え方を模索しながら、住民の皆さんが自分で考え、「自分の命は自分で守る」行動につながるような情報提供に関わっていきたいです。

防災の現場と、住民の方々をつなぐ役割を担えたらと思っています。



## Q 国家公務員や気象庁を目指す方へメッセージをお願いします

専攻分野や学歴よりも、興味とやる気が大事だと思っています。

私自身は気象学専攻でしたが、学生時代の専攻にとらわれず多くの職員が活躍しています。

空や自然、防災に少しでも興味があるなら、ぜひ挑戦してほしいです。

気象庁には、いろいろな形で関わられる仕事があります。

### Schedule

#### ある一日のスケジュール

- 6:15 起床、身支度、1人時間
- 7:00 朝食
- 7:30 子ども朝食・身支度
- 8:00 通勤、登園
- 8:30 勤務開始、予報会報(朝の引継ぎ)
- 9:00 メールチェック、報道記事チェック  
(突風がないか1日を通して実況監視)
- 10:00 打ち合わせ
- 12:00 昼休み → 自宅に戻り昼食+家事
- 13:00 業務再開 資料作成や連絡調整など
- 15:30 ラジオ収録
- 16:00 図書整理
- 17:15 定時、退庁
- 17:30 保育園迎え
- 17:45 帰宅、夕食づくり
- 18:15 夕食、団らん
- 19:30 入浴、家事
- ～ 23:00 就寝



使命は、未来。  
よりよい明日を創る仕事。

気象庁

仙台管区気象台

気象防災部 地域防災推進課